

BEST AVAILABLE COPY

[Reference 10]

Japanese Utility Model Application No. 59-68419 (Japanese Utility Model Laid-open Disclosure No. 60-179218)

Disclosure Date: November 28, 1985

Applicant: Hidan Seisakusho

Title of Invention: Container for Cosmetics

As shown in Figures 1 and 2, a container for cosmetics has a cylindrical body 1, a dividing wall 2 which is provided within the body 1. Fitted portions 3 and 4 are formed on upper and lower sides by the dividing wall 2. The reference numeral 5 indicates a container body which is attached to the upper side of the fitting portion 3 and is for cream type cosmetics. The reference numeral 6 indicates a lid which is threadably attached to the container body 5.

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U) 昭60-179218

⑬ Int. Cl.⁴A 45 D 40/24
B 65 D 21/02

識別記号

庁内整理番号

6671-3B
6564-3E

⑭ 公開 昭和60年(1985)11月28日

審査請求 未請求 (全1頁)

⑮ 考案の名称 化粧品容器

⑯ 実 願 昭59-68419

⑰ 出 願 昭59(1984)5月10日

⑱ 考 案 者 藤 原 昭 弘 柏市花野井627番地

⑲ 出 願 人 株式会社 飛弾製作所 柏市花野井627番地

⑳ 代 理 人 弁理士 松 丸 国雄

㉑ 実用新案登録請求の範囲

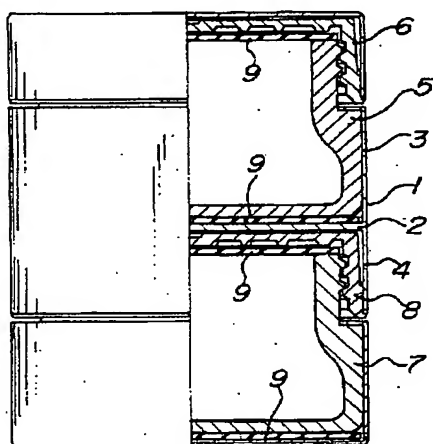
筒状枠体1の内部に仕切壁2によつて上下に区画された2個の嵌合部を形成し、この嵌合部に夫々化粧品容器を嵌着固定してなる化粧品容器。

図面の簡単な説明

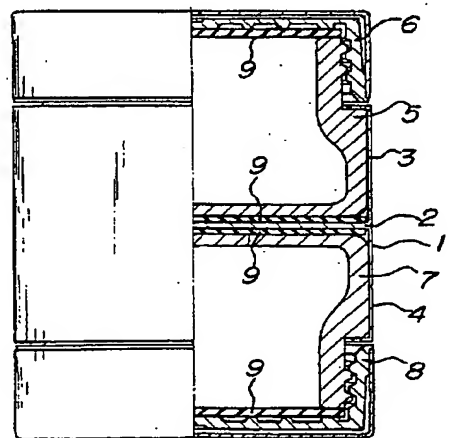
図面は本案の実施例を示すもので、第1図は本

案容器の要部を示す断面図、第2図は蓋体及び容器本体を分離した状態の一部切欠正面図、第3図は別の実施例を示す要部の断面図である。

1…筒状枠体、2…仕切壁、3、4…嵌合部。

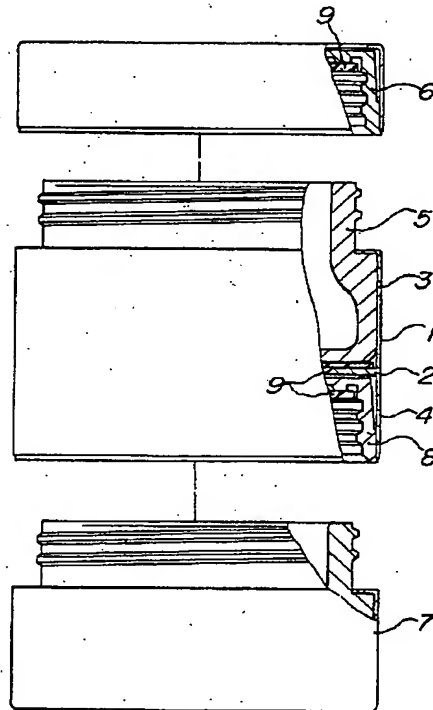


第1図



第3図

第2図



公開実用 昭和60— 179218

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭60-179218

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)11月28日

A 45 D 40/24
B 65 D 21/02

6671-3B
6564-3E

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 化粧品容器

⑯ 実 願 昭59-68419

⑰ 出 願 昭59(1984)5月10日

⑱ 考 案 者 藤 原 昭 弘 柏市花野井627番地
⑲ 出 願 人 株式会社 飛弾製作所 柏市花野井627番地
⑳ 代 理 人 弁理士 松 丸 国雄

明 細 書

1 考案の名称

化粧品容器

2 実用新案登録請求の範囲

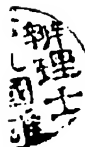
筒状枠体 1 の内部に仕切壁 2 によつて上下に区画された 2 個の嵌合部を形成し、この嵌合部に夫々化粧品容器を嵌着固定してなる化粧品容器。

3 考案の詳細な説明

本案は、2 個の容器を上下二段に結合した化粧品容器に関するもので、その目的とするところは、容器の使いやすさと機能性を高めようとする点に存し、筒状枠体 1 の内部に仕切壁 2 によつて上下に区画された 2 個の嵌合部を形成し、この嵌合部に夫々化粧品容器を嵌着固定してなる構成を要旨とするものである。

以下本案の詳細を図面に示す実施例について説明すると、第 1 図及び第 2 図において、1 は筒状枠体、2 は該筒状枠体 1 の内部に設けた仕切壁であつて、この仕切壁 2 によつて前記筒状

(1)



枠体 1 の上下に嵌合部 3 , 4 を形成する。5 は
 上段の嵌合部 3 に嵌着固定したクリーム等の化
 粧料を装填する容器本体であつて、嵌合部 3 の
 周壁上端部を内側に屈曲して容器本体 5 を固定
 する。6 は容器本体 5 に着脱自在に螺合した蓋
 体を示す。又下段の嵌合部 4 は容器本体 7 の蓋
 体 8 を嵌着固定し、この蓋体 8 に容器本体 7 を
 着脱自在に螺合したものである。而して第 3 図
 は別の実施例を示したもので、上段の嵌合部 3
 には前記と同様に容器本体 5 を嵌着固定し、こ
 れに蓋体 6 を螺合するようにしたものであるが
 、下段の嵌合部 4 には前記とは逆に容器本体 7
 を倒立状態に嵌着固定し、これに蓋体 8 を螺合
 する構造にしたものである。尚図中 9 はパッキ
 ンを示すものである。

本案は叙上の如く、筒状枠体の内部に仕切壁
 によつて上下に区画された 2 個の嵌合部を形成
 し、この嵌合部に容器本体或いは蓋体のいずれ
 か一方を夫々嵌合固定するようにしたもので、
 2 個の容器を上下二段に簡単に結合固定し得る

(2)

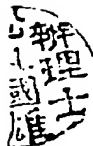
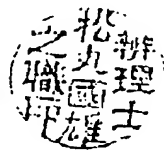
と共にこのように2個の容器を上下二段に組込むことにより、両容器が一体不可分として常時随伴携行に供し得るものであつて、携帯上は無論のこと、使用上も非常に便利であり、容器の機能を著しく高揚せしめ得る利点を有するものである。

4. 図面の簡単な説明

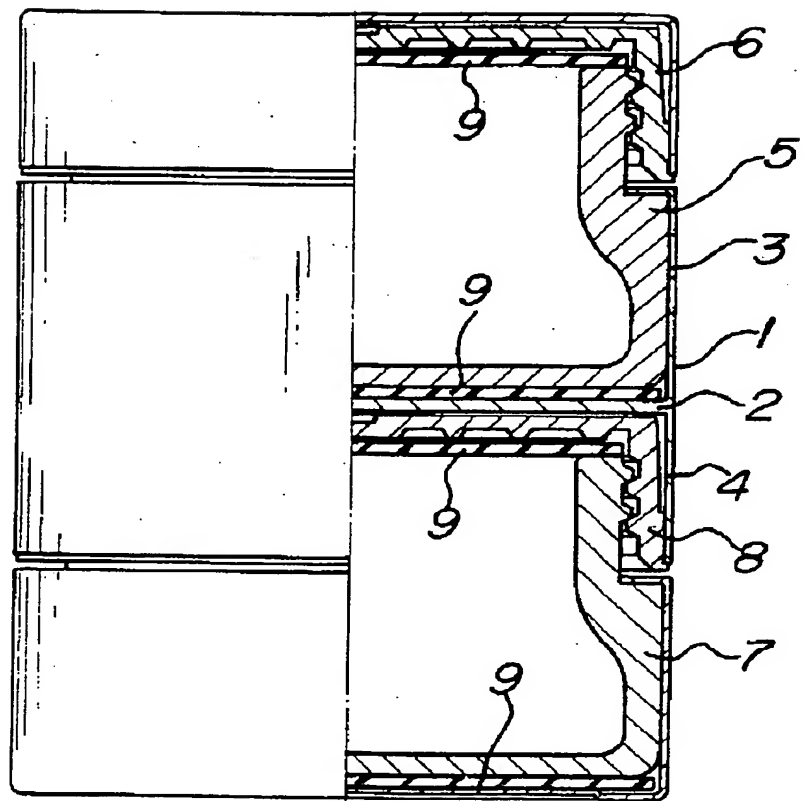
図面は本案の実施例を示すもので、第1図は本案容器の要部を示す断面図、第2図は蓋体及び容器本体を分離した状態の一部切欠正面図、第3図は別の実施例を示す要部の断面図である。

1…筒状枠体、2…仕切壁、3、4…嵌合部。

代理人、弁理士 松 丸 国 雄

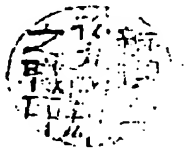


第 1 図

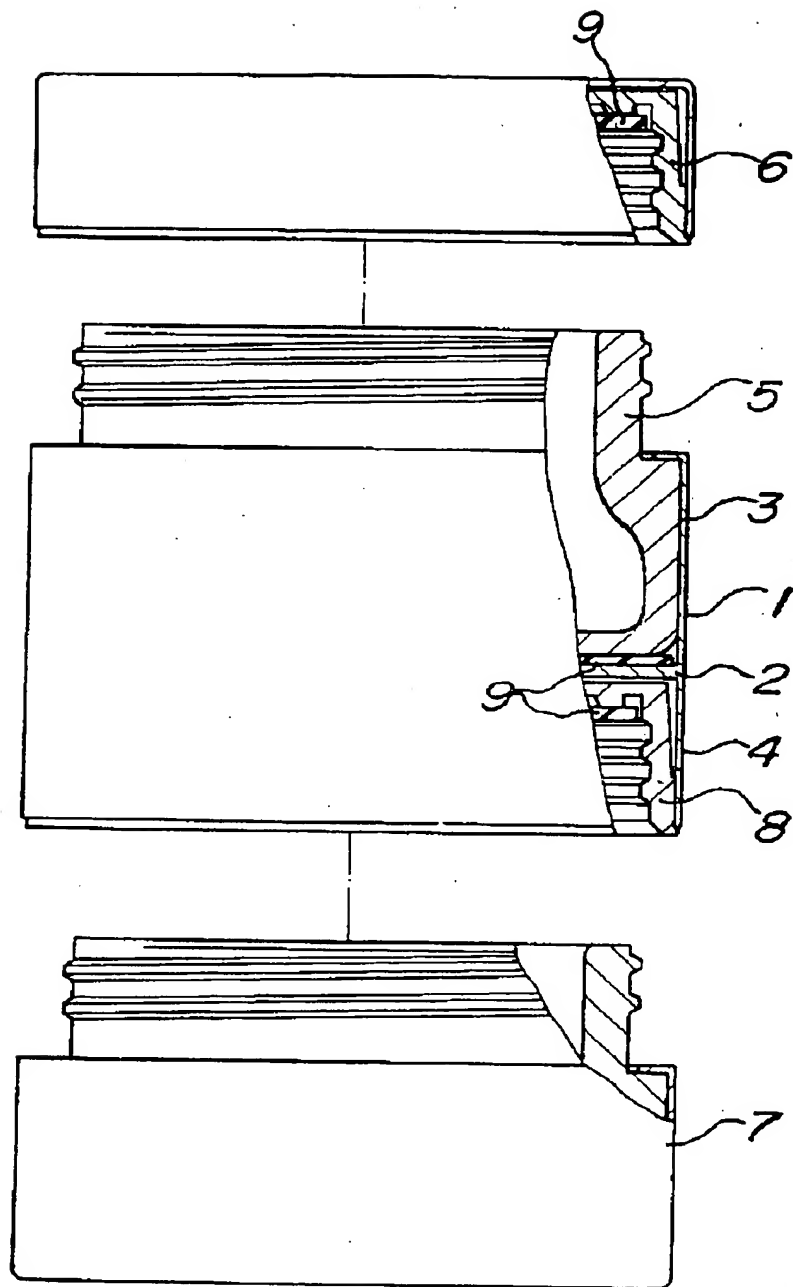


156

代理人、弁理士 松丸 国 雄



第 2 圖

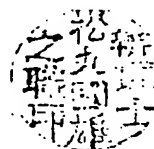
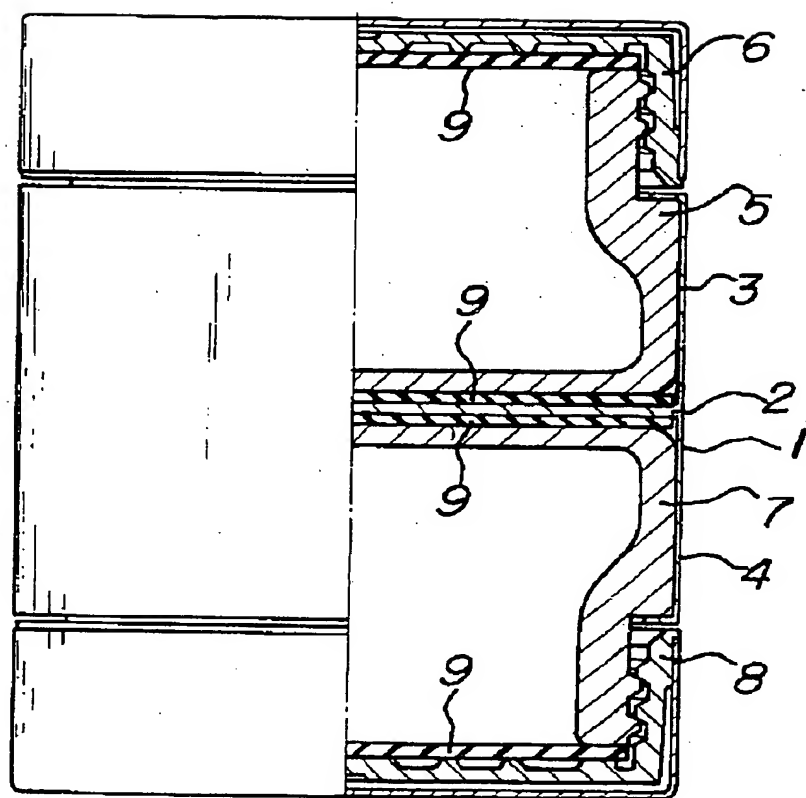


157

代理人、开堪士 松 丸 国 雄



第 3 図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☒ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.